禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B69

「中央職業能力開発協会編」

令和5年度 技能検定
1級 工業包装 学科試験問題
(工業包装作業)

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2) 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   (4) 試験開始の合図で始めてください。
   (5) 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ. A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ. 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

1　日本産業規格(JIS)によれば、業務用包装は、各種事業所(学校、病院、ホテル、食堂など)へ多量に、かつ、継続的に供給する物品を、大きな単位にまとめた包装と規定されている。

2　日本産業規格(JIS)の「包装―環境に関する用語」によれば、包装は、内装、中装及び外装の3種類に大別される。

3　日本産業規格(JIS)によれば、ピロータイプ包装は、小袋包装形式の一種で、包装材料を二つ折りするか又は2枚重ね合わせて、四辺をシールした包装と規定されている。

4　日本産業規格(JIS)によれば、包装容積率は、輸送機関・物流機器の収納可能容積又は利用可能面積に対する、収納された包装物品の占有比率と規定されている。

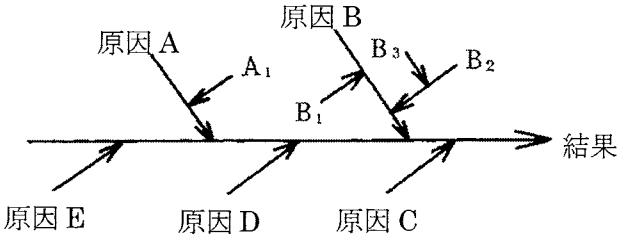
5　日本産業規格(JIS)の「さび止め包装方法通則」によれば、輸出包装する工作機械を防せいする場合に適用する保管環境は、1年以上の保管と同等のレベル1である。

6　日本産業規格(JIS)によれば、外装用機械は、内容品を輸送するときの保護及び取扱いの利便性のための包装を行う機械の総称と規定されている。

7　日本産業規格(JIS)によれば、さび止め包装の作業は、相対湿度80%以下の環境で行うのが望ましいと規定されている。

8　防湿包装材料による包装における乾燥剤の必要量は、一般に、防湿包装材料の透湿度が高いほど少なくなる。

9　品質管理において、下図のように矢印を用いて因果関係を系統的に表した図を特性要因図という。



10　日本産業規格(JIS)の「木箱用語」によれば、木材の含水率は、木材の全乾質量に対する含有水分の質量を百分率で表したものと規定されている。

11　日本産業規格(JIS)によれば、複両面段ボールは、片面段ボールの段頂にライナを貼り合わせた段ボールと規定されている。

12　日本産業規格(JIS)によれば、密閉合板張り枠組箱において、側に水平部材を2本用いる形式は、タイプBである。

［A群（真偽法）］

13　日本産業規格(JIS)の木箱の構造の適用範囲は、内容品質量が1500kg以下で、外のり寸法が長さ6.0m以下、幅1.5m以下及び高さ2.25m以下の輸送包装に用いる木箱の構造と規定されている。

14　日本産業規格(JIS)によれば、枠組箱の側及びつまにおける枠組部材の寸法について、水平部材は、下かまちと同じ寸法とすると規定されている。

15　日本産業規格(JIS)によれば、枠組箱(1形及び3形)において、枠組形式が5Nの場合は、枠中央のすじかいをX形とする。

16　日本産業規格(JIS)によれば、枠組箱の内のり高さは、側の上かまちと下かまちとの両外縁間の寸法と規定されている。

17　日本産業規格(JIS)によれば、枠組箱において、無負荷床材は、その総幅の1／2以下の枚数であれば、中間滑材の上でつき合わせ継ぎをしてもよい。

18　日本産業規格(JIS)によれば、枠組箱において、内のり幅が150cm以下のときは、振れ止めを使わなくてもよいと規定されている。

19　日本産業規格(JIS)によれば、枠組箱において、滑材のつなぎ方をつき合わせ継ぎにする場合は、補強材の長さを滑材の幅の8倍以上とし、ボルトは、つなぎ合わせた左右にそれぞれ2本以上用いると規定されている。

20　日本産業規格(JIS)によれば、普通木箱I・C形の内容品質量は、200kg以下と規定されている。

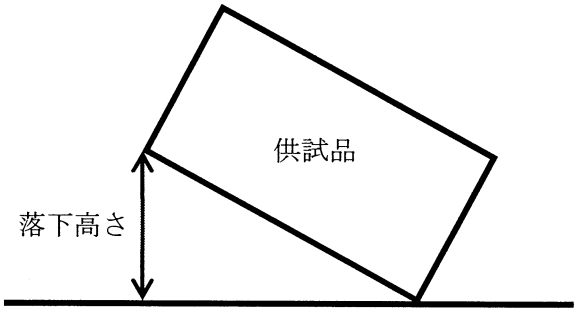
21　日本産業規格(JIS)によれば、木箱において、部材を重ねてくぎ付けするときは、くぎの長さの1／2以上を保持材に打ち込むと規定されている。

22　日本産業規格(JIS)によれば、下図の包装貨物の荷扱い図記号は、輸送及び保管中の包装貨物の正しい上向き位置を示すものである。

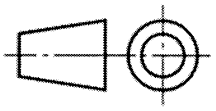


［A群（真偽法）］

23　日本産業規格(JIS)によれば、下図の状態から供試品を落下させる片支持落下試験は、片支持面落下試験である。



24　日本産業規格(JIS)によれば、次の投影法の記号は、第三角法の記号である。



25　労働安全衛生法関係法令によれば、最大積載量が5トン以上の貨物自動車で荷の積み卸し作業を行うときは、保護帽を着用して作業に従事しなければならないと規定されている。

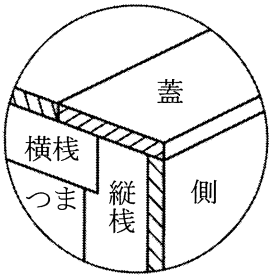
［B群（多肢択一法）］

1　日本産業規格(JIS)によれば、物品などについて消費者の手元に渡るために施す包装と規定されていないものはどれか。

イ　小売包装
ロ　輸送包装
ハ　販売包装
ニ　生活者包装

2　日本産業規格(JIS)によれば、下図に示すつま面形の普通木箱の名称として、適切なものはどれか。

イ　つま縦桟木箱
ロ　つま横桟木箱
ハ　切込み額桟木箱
ニ　留め額桟木箱



3　日本産業規格(JIS)によれば、次のさび止め包装方法の種類の記号のうち、金属製品を防湿材で包み、内部に乾燥剤を入れて密封する除湿包装方法を示すものはどれか。

イ　RP1
ロ　RP2
ハ　RP3
ニ　RP4

4　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

日本産業規格(JIS)によれば、(　　)は、個装・内装用機械の一種で、板紙製シートを所定の形に組み立てる機械と規定されている。

イ　スキンパッカ
ロ　パレットストレッチ包装機
ハ　アンケーサ
ニ　カートンフォーマ

5　日本産業規格(JIS)によれば、さび止め包装における指紋除去形のさび止め油を表す記号はどれか。

イ　NP－0
ロ　NP－1
ハ　NP－10－1
ニ　NP－20－1

［B群（多肢択一法）］

6　日本産業規格(JIS)におけるさび止め包装方法の一般共通事項として、適切でないものはどれか。

イ　包装作業は、連続した一連の操作が望ましい。

ロ　包装は、質量及び体積をできるだけ小さくすることが望ましい。

ハ　さび止め処理材料を施す金属製品が加熱された状態である場合には、さび止め処理材料も加熱して使用するのが望ましい。

ニ　さび止め処理材料を適用しない金属表面に接触する包装紙材は、接触腐食のおそれのないものとする。

7　日本産業規格(JIS)によれば、直方体輸送包装の平面寸法の基準として、規定されていないものはどれか。

イ　366mm×366mm

ロ　550mm×366mm

ハ　600mm×400mm

ニ　600mm×500mm

8　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

日本産業規格(JIS)によれば、(　　)は、計測値の存在する範囲を幾つかの区間に分けた場合、各区間を底辺とし、その区間に属する測定値の度数に比例する面積をもつ長方形を並べた図と規定されている。

イ　パレート図

ロ　ヒストグラム

ハ　マトリックス図

ニ　散布図

9　日本産業規格(JIS)に規定されている段ボール箱のコード番号と形式の組合せとして、誤っているものはどれか。

	コード番号	形式
イ	02	溝切り形
ロ	03	ブリス形
ハ	04	組立形
ニ	05	差込み形

10　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

シュリンク包装とは、シュリンクフィルム(プラスチックフィルム)の熱による(　　)を利用した包装方法をいう。

イ　延伸性

ロ　収縮性

ハ　粘着性

ニ　可燃性

［B群（多肢択一法）］

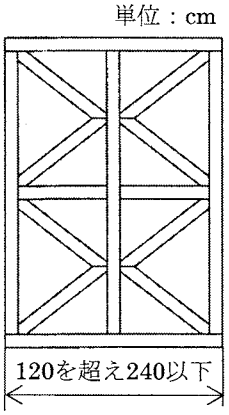
11　文中の(　　)内に当てはまる数値の組合せとして、正しいものはどれか。

日本産業規格(JIS)の枠組箱の構造は、内容品の質量0.5t～60tで、外のり寸法が長さ(①)m以下、幅(②)m以下及び高さ(③)m以下の輸送包装に用いる枠組箱に適用される。

	①	②	③
イ	10.0	3.5	3.5
ロ	10.0	5.0	5.0
ハ	15.0	5.0	5.0
ニ	15.0	7.5	7.5

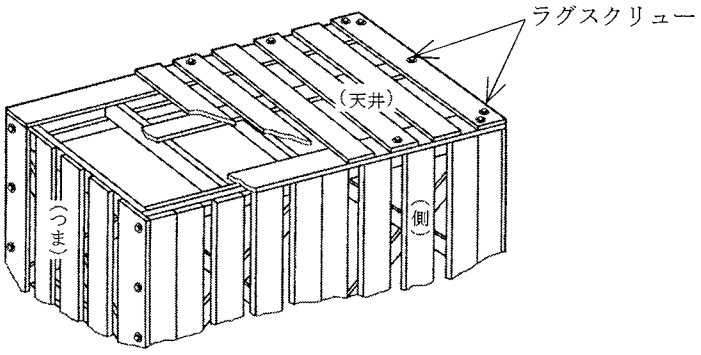
12　日本産業規格(JIS)の枠組箱の構造によれば、下図に該当する1形及び3形の枠組形式はどれか。

イ　2X
ロ　4K
ハ　2KK
ニ　4XX



13　日本産業規格(JIS)によれば、下図の枠組箱の種類を表すものはどれか。

イ　1A形
ロ　1B形
ハ　3A形
ニ　3B形



［B群（多肢択一法）］

14　文中の(　　)内に当てはまる数値の組合せとして、正しいものはどれか。

日本産業規格(JIS)によれば、枠組箱において、はりにかかる天井荷重は、クラス1は(①)kPaとし、クラス2は(②)kPaとすると規定されている。

	①	②
イ	3.0	1.7
ロ	3.0	2.7
ハ	4.0	1.7
ニ	4.0	2.7

15　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

日本産業規格(JIS)によれば、枠組箱において、はりの木口を側の上かまちにくぎ付けするときは、はりの長さを(　　)とみなして、はり受けの寸法を選んでもよいと規定されている。

イ　1／2
ロ　1／3
ハ　2／3
ニ　1／4

16　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

日本産業規格(JIS)によれば、枠組箱の枠組部材の寸法において、そえ柱の長さは、支柱の長さの(　　)以上とし、はり受けの下に用いると規定されている。

イ　1／2
ロ　1／3
ハ　2／3
ニ　1／4

17　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

日本産業規格(JIS)によれば、枠組箱の天井板において防水紙をつなぐときは、(　　)cm以上重ね合わせ、耐水接着剤を用いて接着すると規定されている。

イ　6
ロ　7
ハ　8
ニ　9

18　日本産業規格(JIS)によれば、木箱におけるくぎ付け方法に関する記述として、誤っているものはどれか。

イ　打ち付ける板の厚さの中央部に打ち付ける。
ロ　くぎの頭は、突き出ないように打ち込み過ぎぐらいがよい。
ハ　くぎ付けのとき割れるおそれのある部材に対しては、あらかじめくぎの径より小さい下穴をあけて打ち込む。
ニ　桟から板に打つくぎは、原則として、木箱の内側で先端を0.3cm以上打ち曲げる。

［B群（多肢択一法）］

19　日本産業規格(JIS)によれば、下図の荷扱い図記号が表すものはどれか。

イ　フォーク差込み禁止
ロ　転がし禁止
ハ　ハンドトラック使用制限
ニ　手かぎ禁止



20　パッキングリストへの記入事項の一つである「Description」の訳として、適切なものはどれか。

イ　荷揚港
ロ　体積
ハ　品名
ニ　船便名

21　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

貿易用語において、(　　)とは、運送人渡条件のことをいう。

イ　DAT
ロ　FAS
ハ　FCA
ニ　CFR

22　日本産業規格(JIS)によれば、包装貨物の落下試験報告書の必須記載事項でないものはどれか。

イ　試験料
ロ　使用した試験装置の形式及びその仕様
ハ　試験室の温度及び相対湿度
ニ　試験者の署名

23　日本産業規格(JIS)によれば、「L A×B×t_1×t_2–L」(Lは長さを表す。)によって表される形鋼はどれか。

イ　不等辺不等厚山形鋼
ロ　軽溝形鋼
ハ　等辺山形鋼又は不等辺山形鋼
ニ　I形鋼

［B群（多肢択一法）］

24　労働安全衛生法関係法令に関する記述として、誤っているものはどれか。

イ　手押しかんな盤には、刃の接触予防装置を設けなければならない。

ロ　木材加工用丸のこ盤には、横切用丸のこ盤その他反発により労働者に危険を及ぼすおそれのないものを除き、割刃その他の反発予防装置を設けなければならない。

ハ　構内運搬車を用いて作業を行うときは、作業開始前に始業前点検を行わなければならない。

ニ　フォークリフトの運転者が一時的に運転位置から離れるときは、フォークを最低降下位置まで下げなくてもよい。

25　労働安全衛生法関係法令におけるクレーンの玉掛用具に関する記述として、正しいものはどれか。

イ　ワイヤロープの直径の減少が公称径の3%を超えるものは、使用してはならない。

ロ　ワイヤロープ一(ひと)よりの間において、素線(フィラ線を除く。)の数の10%以上の素線が切断しているものは、使用してはならない。

ハ　クレーンの玉掛用具であるつりチェーンの安全係数については、3以上でなければ使用してはならない。

ニ　クレーンの玉掛用具であるフック又はシャックルの安全係数については、4以上でなければ使用してはならない。